

ホームページ
更新中

「生きる」 谷川 俊太郎（国語 六 創造〔光村図書〕より）

校長 伊藤 啓博

物事がうまく進まなかったとき、つい「〇〇のせいだ」と言いたくなることがあります。でも、そこをぐっとこらえて「自分に足りなかつたことは…」と考える力は、これから的人生を豊かにする大切な力です。

学校では、子供たちが自分の行動を振り返り、次につなげる姿勢を育てています。自分の思い通りにならないことも成長のチャンス。誰かのせいにするのではなく、自分に返して考える習慣を大切にしたいものです。私たち大人も…です。

ある教室でこんな出来事がありました。休み時間に友達同士でトラブルが起き、「〇〇さんが悪いんだよ！」と声を荒げる子がいました。すると、担任の先生が静かに問い合わせました。「どうしたの？…そっか。それは嫌だったね。その時自分はどうしたの？…違う言い方なかつたかなあ。」そう先生に話を聞いてもらった子は、静かに考えたのち、「ちょっと言い過ぎたかも…」とぽつり。その瞬間、その場の空気が変わり、相手の子も「ごめんね。」と素直に謝ることができました。

人のせいにするのは簡単ですが、責任を押しつけるのではなく、自分の言動を見つめる力は、人の関係をよりよくする第一歩です。自分に返して考えることで、相手の気持ちにも気付けるようになります。学校では、こうした小さな気付きの積み重ねを大切にしています。

6年生の国語の教科書（光村図書）「国語 六 創造」の中で、3学期、卒業を前にした時期に学ぶ、谷川俊太郎さんの第五連からなる口語自由詩「生きる」。その中の第三連にはこう綴られています。

『生きているということ いま生きているということ 泣けるということ 笑えるということ 怒おこれるということ 自由ということ』

私たちは、様々な関わり合いの中で、泣いたり笑ったり腹が立ったりしながらも、自分と向き合い、「今」を生きています。これを読むと、「自由」とは、感情を持ち、それを表現できることだと気付かれます。でも、その自由を本当の意味で大切にするためには、「自分を省みる力」が必要です。自分の言葉が誰かを傷つけていないか。自分の行動が周囲にどんな影響を与えていたか。そんなふうに立ち止まって考えることは、子供たちにとっても大切な学びです。もちろん、私たち大人も。学校では、子供たちが「自分の気持ち」と「相手の気持ち」の両方に目を向けられるよう、日々の関わりの中で声をかけています。自由に生きるとは、ただ好きなことをすることではなく、自分の責任を引き受けることもあります。

よりよい「明日」の自由のために、精一杯の「今」を生きる。「人のせいにしない」「我が身を直す」…言葉で言うのは簡単ですが…実践していきたいものです。

「いろんなもの見たよ！」

9月26日、1・2年生が生活科学習における施設見学に出かけました。

まず行ったのは、志布志駅です。志布志駅から串間駅まで電車に乗る体験です。志布志駅構内を見学後、電車に乗り串間駅まで向かいました。友達と隣同士で座りながら、車内で過ごしました。景色も見ながら、電車の中ではどのように過ごしたらよいのか、学習しました。串間駅に着くと、電車代を一人ひとり支払いました。次は、バスで志布志郵便局まで移動し見学です。志布志郵便局では、郵便局の中や配達用のバイクの中、郵便物の仕分けの棚などを見学しました。局員の方の話もよく聞き、メモをとっていました。最後に、書いたはがきをポストに投函しました。



次の週、見学のまとめをしていました。

「外国の手紙に押すスタンプがあったよ。」「1日に3500通はいたつすることもあるけど、金曜日は3000通だったよ。」と、たくさんのこと教えてくれました。自分たちのお家に配達される郵便物が、どのように仕分けされて配達されるのか、学習できたようです。また、集団で行動する際は、どのようなことに気を付けたらいいのかも学習できました。

教科書や本で学ぶことも大切ですが、自分自身の体験を通して実感できることは、子どもたちの興味関心を一層高めてくれます。この見学を通して、公共施設が自分たちの生活をどのように支えているのか、その工夫を実際に見て実感したかと思います。

新聞に掲載されました



10月12日、はらだ秋祭りが開催されました。鹿屋中央高校の書道パフォーマンスから始まりダンスや演奏など、内容盛りだくさんで、参加した人全員が楽しいひとときを過ごしました。小学生は、合唱とダンスを披露しました。最後は原田和太鼓童・翔の太鼓の演奏。阿久根太鼓と合同演奏もあり、迫力ある演奏で締めくくることができました。素敵な時間をあってくださったコミュニティ協議会を始め、地域の方々に感謝申し上げます。



精一杯がんばりました

10月16日木曜日、5・6年生全員が、市陸上記録会に参加しました。朝の体力づくりや体育の時間に、出場種目の練習をしてきた5・6年生。本番で、自分の目標を達成しようと精一杯競技に取り組みました。

ジャパンアスリートトレーニングセンター大隅で開催された市陸上記録会。競技場の広さに圧倒され、緊張していた子もいたようですが、いざ競技になると堂々とした態度で臨んでいました。今回の大会も100m走やリレー、ハードル走などではタイム計測器を使用。本格的な大会の雰囲気に、気持ちも一段と高ぶったようです。声援する態度も、よかったですと聞いています。

2名の児童が入賞。一人ひとりが自分の種目で力を出し切った陸上記録会。健闘を讃えます。

6年生の作文より

○ いよいよ陸上記録会。体育の時間や体力づくりの時の練習を発揮させるときだ。この日はみんなそわそわしており、バスの中は騒がしかった。走る番がきた。100mなので、スタートをミスすると、かなり差がつく。私はスタートから全力で走った。友達の声援が聞こえ、さらに力が増す。ゴールに到着。二位。うれしかったが、一位をとれなかった悔しさが残った。

○ 私の目標の115cm。跳べるかわからなかったけど、やってみたら以外にも跳べました。びっくりしたけど、うれしかったです。120cmにチャレンジする人は、私ともう一人しかいませんでした。私はようやく跳べ、もう一人は棒が落ちてしまいました。次は123cm。初めての高さでとてもきんちょうしたけど、案外跳べました。次の126cmは跳べませんでした。でも、目標から8cmも高く跳べたからよかったです。

11月の行事予定

11月1日(土) ～7日(金)	地域が育む「かごしまの教育」県民週間
5日(水)	津波防災訓練(2校時)
7日(金)	高齢者とのふれあい活動(1・2年) がんがらちゃん
8日(土)	原田っ子フェスタ・PTA役員選挙説明会
13日(木)	避難訓練(火災)
15日(土)	子ほめの日
18日(火)	PTA役員選挙投票・開票 第2回役員選挙委員会
25日(火) ～12/5(金)	校内人権週間
25日(火)	持久走大会試走
28日(金)	市音楽発表会(3・4年生) 5年生社会科見学 がんがらちゃん



第68回県児童生徒作文コンクール大隅地区審査会

特選 4年 Hさん 6年 Tさん
(二人とも県審査へ)

市陸上記録会

100m走 第2位 (14.7秒) Tさん
走り高跳び 第1位 (123cm) Kさん

学校自由参観

11月4日(火) 5日(水)

6日(木) 7日(金)

教室等にて

9:40～12:15
(2～4校時)



原田っ子フェスタ (学習発表会)

11月8日(土)

体育館にて

8:25～10:30

令和7年度

地域が育む 「かごしまの教育」県民週間

志布志市立原田小学校

099-475-0004

11月1日～11月7日



ホームページを
チェック!

